



畜産

所属	君津農業事務所企画振興課
入庁年	2021年
異動歴	2021年 農林水産部畜産課 2024年 君津農業事務所企画振興課

1 仕事の内容は？

農業事務所の企画振興課では、畜産農家さんが県や国の補助事業を取り組む際に、提出資料の作成のサポートを行っています。また、畜産農家及び関係機関（市、JA等）が構成員となっている君津地域畜産振興協議会の事務局を担っており、畜産の振興を図る活動を行っています。協議会では、毎年「かずさファームフェスタ」を開催し、地元の畜産物の販売や模擬牛での乳しぼり体験及び頭絡投げ（家畜を保定するための紐で作った輪を投げて遊んでもらう）等を行うイベントを開催しています。小さい子から大人の方まで楽しめるようなイベントを目指しており、地域の方に畜産を身近に感じるきっかけとなればと考えて、イベントの企画・準備を行っています。

2 志望理由は？

酪農発祥の地といわれている「南房総地域」で育ったことから、畜産農家や地域のために貢献できる県職員の仕事に魅力を感じました。千葉県は酪農だけではなく、養豚や養鶏も盛んで、畜産業を盛り上げる仕事が多いと感じています。

3 仕事のやりがいは？

補助事業に携われることです。飼料高騰の中、自給飼料をより多く生産するため、畜産農家や市と連携し資料作成を行い、自給飼料生産のための機械を導入できた時はこの仕事をしていて良かったと感じました。

4 印象に残った仕事は？

畜産の交流イベント等開催時に、来場者から「毎年楽しみ」「子どもが楽しめて良かった」との声を聞いたこと。関係機関と連携して準備を進め、イベントが無事開催され、好評をいただけたことに大きな達成感を感じました。

5 県職員として働くことで発見できた千葉県の新しい魅力は？

畜産農家に限らず、多くの農家さんが生産物を販売または加工して販売しています。メディアで取り上げられている有名な農家さんもありますが、地元の直売所や地元で開催されるイベントに出店している生産物を知り、購入することができるのは、職員として働いているからこそだと感じています。まだまだ美味しい農畜産物を生産している農家さんは、たくさんいるので、これからも直売所などで、地元の農畜産物を見つけていきたいと思っています。

6 職場の雰囲気は？

農業事務所は、若い職員から経験豊富なベテラン職員もおり、バランスの取れた職場だと感じています。若い職員同士や若手職員から先輩職員へ、業務の疑問について、聞きやすい雰囲気があり、職員間で協力し合える職場だと感じています。

7 休日や退庁後の過ごし方は？

木更津地域は、内房の中央部に位置し、アクアラインを使えば、県外へのアクセスも良い立地となっています。県北や県南へも比較的行きやすいので、よく県内観光スポットを巡っています。各地域の特産物が置いてある道の駅に行くのが好きで、出かけた際は、必ず道の駅に立ち寄っています。

8 一日のスケジュール

- 8:30 ● 出勤 メール確認
- 9:00 ● 移動
- 10:00 ● 畜産農家さん、市職員と事業計画の打合せ
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● メール確認
- 13:15 ● 課内会議
- 14:00 ● 事業完了確認検査準備
- 15:30 ● 調査回答の取りまとめ
- 17:15 ● 退庁

